

タイトル：『汐製菓会社の新作㊄キャラクター㊄』

シーン：【社長室・朝】

（汐がホワイトボードに「サーモンキャラクター」と書き込んでいる。塩田が入室する。）

汐

（興奮気味に）塩田！新しいアイデアが来たぞ！

塩田

（戸惑いながら）今度はどんな奇抜な発想ですか？…あれ、「サーモンキャラクター」って書いてありますけど？

汐

（自信満々に）そうだ！魚の王様、サーモンとキャラクターを掛け合わせた、これぞ革命的な新作だ！

塩田

（半信半疑で）魚…とキャラメルですか…。さすがにそれはやりすぎでは…？

汐

（楽しそうに）普通の発想じゃ面白くないだろ！市場が求めているのは、インパクトだ！

塩田

（不安そうに）でも、それが求められているかどうかは…。前回の「納豆ガム」も話題にはなりましたが、味は大失敗でしたし…。

汐

（大笑いしながら）話題性は十分だっただろ？一歩ずつ革新に近づいてるんだよ！さあ、開発に取り掛かろう！

シーン2: 【開発室・試作品1号】

（開発室では技術者たちがサーモンキャラメルの試作品を作っている。部屋中にサーモンの匂いが立ち込めている。）

技術者 ▶

（困惑して）えー、これ本当に商品化するんですか？匂いが…。

技術者 □

（ため息をついて）キャラメルと魚と一緒にするなんて、考えたこともなかった…。

（汐が試作品を持ってやってくる。）

汐

（自信満々に）さあ、試食タイムだ！みんな、これを食べてみる！

技術者 ▶

（恐る恐る）え、ええ、いただきます…。

（技術者たちが試食するが、すぐに顔をしかめる。）

技術者 ㊦

(苦笑いしながら)社長：正直、これ、味が…。魚の匂いが強すぎてキャラメル甘さが消されてます…。

塩田

(心配そうに)やっぱり、キャラメルと魚の組み合わせは無理があるんじゃない…。

汐

(考え込む)うーん…なるほど、風味が強すぎるか。でも、この違和感こそが売りになるんだ！ 試行錯誤だな。もっとサーモンの風味を抑えてみよう。

塩田

(小声で)いや、抑えるっていうか…魚を抜いてもいいかと…。

シーン③【試作2号・味覚のバトル】

（技術者たちが改良を重ねている。汐と塩田がまた試作品を持ってくる。）

汐

（自信たっぷりに）さあ、次の試作だ。今度はサーモンの風味を抑えつつ、キャラメルの甘さを生かしているぞ。

技術者 A

（試食して顔をしかめる）うーん、確かにサーモンの風味は抑えられていますが、なんだか甘い魚というか…。

技術者 B

（苦笑いしながら）味のバトルですね。甘いのか、しょっぱいのか、はたまた魚なのか…。

塩田

（疲れた顔で）バトル…。まさにそんな感じですよ。

汐

（大笑いして）バトルだと？いいじゃないか！これは人々の舌にインパクトを与える、味覚の戦いだ！

塩田

（ため息をついて）いや、そんな戦い望んでないですから…。

シーン④【発表会前・準備の葛藤】

（発表会の準備が進む。塩田は緊張しながら書類を整理している。）

塩田

（心の中で）本当にこれを発表するのか…。このサーモンキャラメル、絶対失敗する気がする…。

（汐が入ってきて、元気よく）

汐

（明るく）さあ、塩田！準備はできたか？発表会は成功間違いなしだ！

塩田

（不安そうに）社長、本当にこれでいいんですか？正直、バイヤーたちがどう反応するか…。

汐

（自信満々に）心配無用だ！彼らは驚きと共に感動するさ。こんな商品、世界中どこにもないんだから。

塩田

（小声で）いや、だからこそ心配なんですけど…。

シーン5: 【商品発表会・混乱】

（華やかな会場。国内外のバイヤーやメディアが集まり、興奮した様子の汐がステージに上がる。）

汐

（大声で）皆さん、ようこそ！今日は皆さんに、世界初の「サーモンキャラメル」をご紹介します！

（会場がざわつき、外国人バイヤーたちが困惑している。）

外国人バイヤーA

（日本語で）え、魚とキャラメル？それ、本気ですか？

外国人バイヤーB

（日本語で）これは面白いね……。けど、食べてみるのは勇気がいるな。

（塩田は舞台袖で不安そうな顔をしている。）

塩田

(心の中で)やっぱり、無理じゃないか…。

汐

(試食品を配りながら)さあ、皆さん、これを食べてみてください！これが未来のお菓子です！

(バイヤーたちは恐る恐る口に入れるが、表情が硬くなる。)

外国人バイヤーA

(眉をひそめ)うーん、これ、どう表現すれば…。甘いけど魚臭い？

外国人バイヤーB

(苦笑いしながら)これは斬新だね。好き嫌いがはっきり分かれる味だよ。

国内バイヤーA

(冷静に)確かにインパクトはありますね。これが売れるかどうかは…ちょっと未知数です。

塩田

（心の中で）やっぱり、こうなるよね…。

汐

（大声で）驚きは大事だ！この商品が時代を
変えるんだ、見てろよ！

シーン⑨【フィンランドでの成功と驚き】

（数週間後。汐が社長室で満足げに笑っている。塩田が資料を持って入室。）

塩田

（驚いて）社長！なんと、フィンランドでサーモンキャラメルが売れ始めたそうです！

汐

（得意げに）だろう？言った通りだ！サーモンが主食のフィンランドでは大ヒットするって！

塩田

(半信半疑で)いや、まさか本当に…。これ、偶然のヒットですよね？

汐

(ニヤリと)いや、運も実力のうちだ！さあ、次の新作を考えようか？

塩田

(溜息をつきながら)またですか…。次こそは、もう少し普通のものにしてくださいよ…。

終わり